

アイデア⑤ 内容Bと内容Cの関連付けを図った単元構想

高等学校家庭科 家庭総合 内容「B 衣食住の生活の科学と文化」(2)
内容「C 持続可能な消費生活・環境」(2)

<ねらい>

単元構想において、内容B 衣食住の生活の自立と設計【住生活】と内容C 持続可能な消費生活・環境【消費生活】を関連付けを図ることで、多角的な視点から物事を捉え、意思決定することの大切さに気付くことができるようにする。

【アイデアのポイント】

内容Bの住生活の学習において「一人暮らしの部屋探しのため、オンライン内見を通して、住生活及び賃貸借契約について考える」場面を設定することで、内容Cの消費生活との関連を図る。また学習展開において、住居に求める条件をリストアップして見直す学習活動を設定することで、小・中学校での学習内容を振り返り、これまでに学んだことを活用・発揮することができる。

高等学校家庭科 「家庭総合」 内容「B 衣食住の生活の科学と文化」

(2) 衣生活の科学と文化

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 衣生活を取り巻く課題, 日本と世界の衣文化など, 被服と人との関わりについて理解を深めること。

(イ) ライフステージの特徴や課題に着目し, 身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに, 健康と安全, 環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること。

…(中略)…

イ 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適, 機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について考察し, 工夫すること。

高等学校では, このような内容を学習します。

高等学校家庭科 「家庭総合」 内容「C 持続可能な消費生活・環境」

(2) 消費行動と意思決定

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 消費生活の現状と課題, 消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解を深めるとともに, 生活情報の収集・整理が適切にできること。

…(略)…



ポイント解説

各内容を教科書通りの順番で指導していませんか。
また、学びの深まりを意識し、小・中学校の学習内容を踏まえた授業になるよう工夫していますか。

身に付けた資質・能力を活用・発揮した授業を展開することができるよう、単元また本時の指導計画を工夫してみましょう。

紹介する実践例は、令和2年度の初任者研修講座の受講者が構想したものです。内容の関連付けを図った単元構想と小・中・高等学校の学びの系統性を意識した授業展開により、生徒の思考を深められるよう工夫されています。

Point



0 高等学校 Y 先生の実践例（令和 2 年度初任者研修講座）

1 単元名 第7章 住生活をつくる

【学習指導要領 内容(2)生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境】

2 単元の目標

- (1) ライフステージに応じた住居の機能などに必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。
- (2) 住居の機能性や快適性について考察し、各ライフステージに応じた住居の条件について考える思考力と判断力を育成する。

Y先生の実践は、高等学校学習指導要領解説（平成22年5月）下のものです。
よって、本アイディアとは内容の表記が異なります。

※本実践（ウ 住居と住環境）は、平成30年告示の学習指導要領では「B 衣食住の生活」の内容になります。

アイディアは、令和4年からの実践を図り、高等学校学習指導要領解説（平成30年7月）の内容で読み替え、記載していますので御承知おきください。

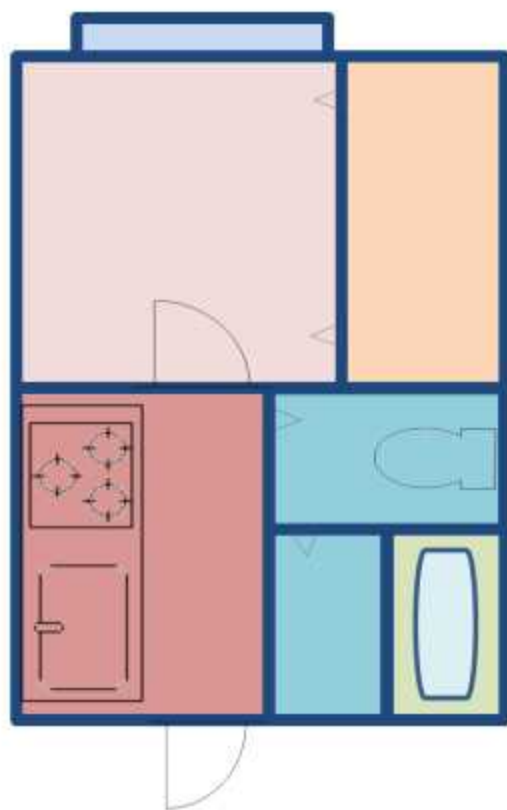


内容B・Cの関連

間取り図等の理解

ライフスタイルに応じた住生活

安全に配慮した住居の機能

内容B
一人暮らしの部屋探し

+

内容C
賃貸借契約

単元構想の際、内容の関連を図り、このような計画を立てています。



小・中・高の内容の関連



学習活動を展開する上での工夫として、小・中学校での学習内容を振り返り、これまでに学んだことを活用・発揮できるように、住居に求める条件をリストアップして見直す学習活動を工夫しています。



浴室などは、カビがはえやすいことを勉強したな。換気ができるように窓があるかは重要じゃないかな？



	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入 (10分)	本時の目標 : 一人暮らしの部屋探しの際に必要な情報とは? 物件情報の注意点を考えよう。			
	1 一人暮らしを する部屋に求 める条件	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を理解する。 ・住居に求める条件について見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始前に4~5人グループに分かれておくように指示をする。 ・学習の継続性を意識させるため、小学校や中学校での既習事項に触れる。 	
展開 (35分)	2 部屋探しの手 順	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋探しの手順について黒板を見ながら理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活の中で見かける不動産屋やアプリのCMを思い出させることで、学習内容を身近に感じさせる。 	
	3 内見できない 場合の対処と オンライン内 見	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の2~3月はコロナの影響で実際に内見に行けなかった状況・問題について理解し、課題解決の方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題に対する現代的な解決方法を考えさせるため、ワークシートの空欄の「オンライン」というワードを生徒から引き出すよう発言を促す。 ・主発問に迫るため、再度本時の目標を確認する。 	【B】問題に対する解決方法を考え、自分なりに答えを記述している。(ワークシート)
	主発問 : オンライン内見(という情報収集の方法)には落とし穴がある。それは何だろうか?			
	4 オンライン内 見の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに沿って、契約成立や情報収集の注意点について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン内見の課題について生徒自身が見付けられるようにするため、既習事項に触れる。 ・賃貸契約については、以前は宅地建物取引士による重要事項説明を対面で受ける必要があったが、2017年以降、IT重説の解禁により契約を交わすことが可能になっている。 	
まとめ (5分)	5 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクションカードにまとめを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記入に時間のかかる生徒のために、まとめの時間を確保する。 ・次回の学習意欲を高めるため、生徒のリフレクションをもとに次回の学習内容について予告をする。 	【B】オンライン内見という物件情報注意点について考えている。(リフレクションカード)

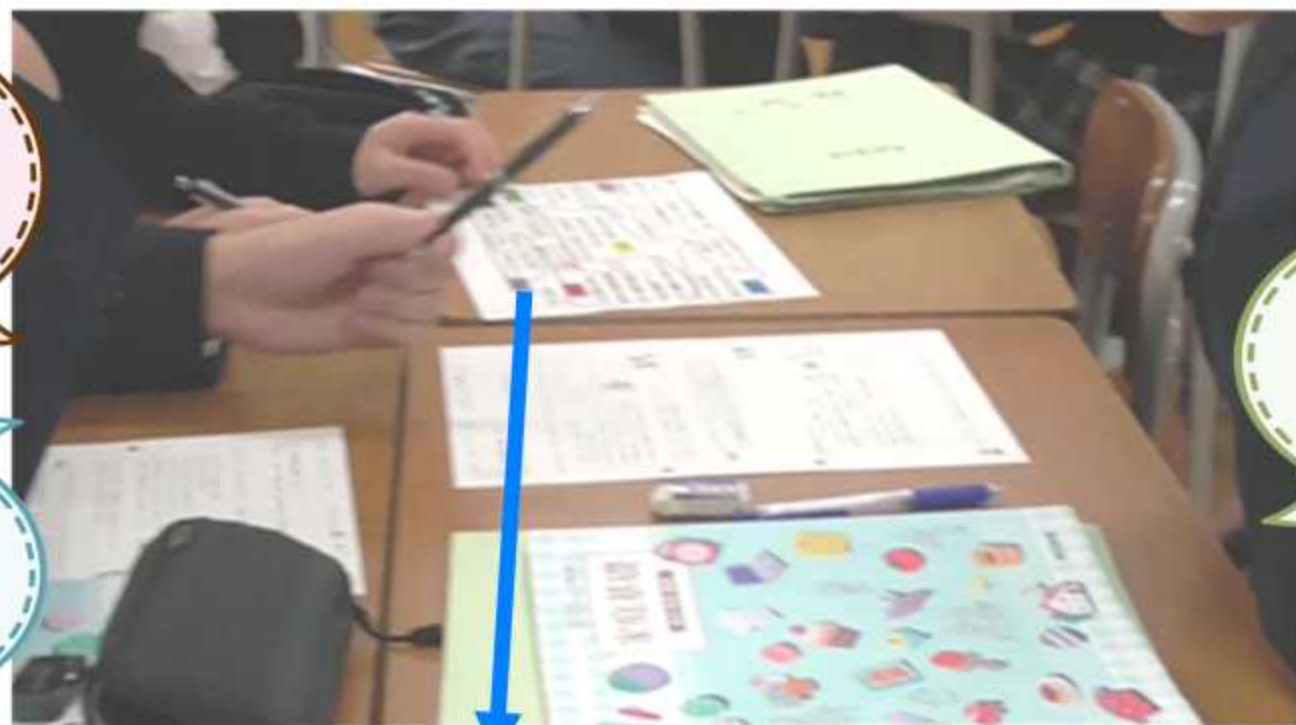
ライフスタイルに
応じた住居
(内容B)

住居に求める条件の見直し
(小学校, 中学校)

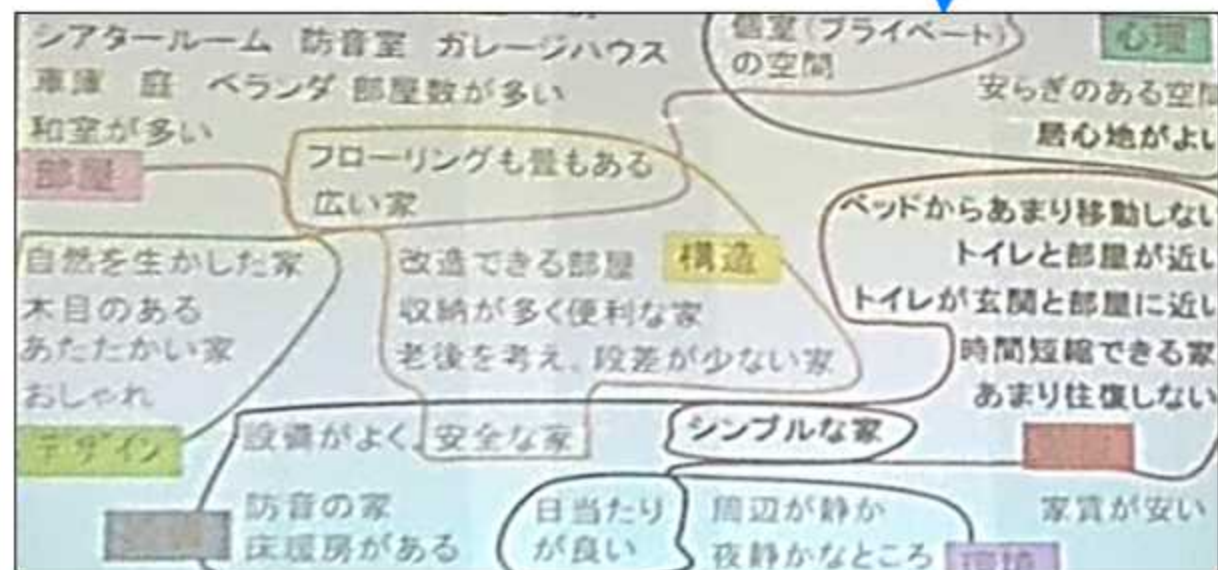
契約(賃貸借契約)
(内容C)

「収納」の方が
大事じゃない？

やはり「静か」と
いう条件は外せ
ないよ。



「あたたかい」という
条件も必要では？



実際の授業の様子です。

小学校や中学校の既習事
項を想起しながら、住居に
求める条件を見直している
場面です。



実践した受講者の振り返りより

小学校や中学校の学びを活用したり,他の領域を組み込んだりすることは学習効果があると思いました。生徒の思考の流れに沿っていれば,実生活の中で活用できる場面が必ず増えると思いました。



生徒が身に付けた資質・能力を発揮できるような授業にするには,「単元」や「授業展開」の工夫だけでなく,「年間指導計画」の作成段階から,十分な検討を重ねる必要がありますね。